

富士紀行 (56) 地ビール紹介 (追加)

須走の名所でもある須走登山道沿いの大柳、芭蕉句碑の隣に、扉は既に朽ち落ちている石の祠が、コンクリート製の裏返したU字溝にひっそりと安置されている。中には、「奉請龍大明神鎮座」と刻され、富士学校総務部が昭和58年にお参りした際のお札が納められていた。ワンカップ大関の瓶、数枚の貨幣があり、誰かが時にはお参りする事を思わせた。

人事課の業務班が昨年末にお参りしたそうで、それ以降暫くの間は大きな事故はなく学校全体としては平穏だった(と信じている)そうだ。須走の古老にお聞きすると、富士学校創設以前には現学校敷地内に安置されていたそうで、学校創設の際に移設されたようだ。雲霧神社と称するとのことで、3ヶ月に一度為し得れば、奇数月の17日には山の神が降りてこられるとのことで、お詣りすべきであるとのことであった。

そして1月17日にはお札を納めているのだそうだ。お供え物としては、洗米、塩、昆布等の海の幸、お酒である。○龍大明神は各地に祀られており、それぞれの地域の守り神であり、須走では山の神なのだろう。

駒門駐屯地の内にも人知れず稲荷神社が安置されているが、これもかつて、現駐屯地内にあったものを外に移設したところ大事故が続いたので、お稲荷様の祟りだろうとのことで駐屯内にお移したものだそうだ。

さて、先般御殿場に昨夏オープンしたアウトレットに行った。その際、入手したパンフレットに地ビールの紹介があったので、富士紀行38号に以下の地ビールを追加する。

- ① 駿河ビール 富士市
爽やかできりりとした豊かな味わい、ピルスナービールとアルトビールの2種類
- ② こがねビール 沼津市
グルメ街道沿い、富士山系の天然地下水 ビールコンテストで数々の受賞歴
ヴァイツェン、ケルシュ、アルトの3種
- ③ オラッチェビール 函南町
伊豆長岡の酪農王国内の深井戸の天然水と地元の有機栽培麦使用。
ダークラガーブラハ、ピルスナー の2種
- ④ 反射炉ビヤ 韮山町
韮山の反射炉に隣接し、敷地内の湧水を使用。 定番銘柄は、3種。
「太郎左衛門(ペールエール)」「大吟醸政子(日本酒酵母使用)」、「頼朝(ポーター)」

(参考：東海道400年祭関連パンフレット)